学校番号	T3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　標準文学国語」　（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、小説・随筆・詩歌などに描かれた人物の心情や情景、表現の仕方などを読み味わい、共感力や想像力、そして創造的に考える力を育成することをねらいとしています。
・授業の中心となるのは、作品を読む活動です。一方、教材での学びを踏まえた創作活動や、課題を設定し論文形式にまとめるなどの書く活動も行います。
・毎回の授業を大切にして臨んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	随想〈芸術〉 ［教材］ 「真珠の耳飾りの少女」	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。 c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	現代の小説（1） ［教材］ 「ナイン」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することができる。 b[書]：文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすることができる。 c：文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	近代の小説（1） ［教材］ 「鼻」	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	近現代の詩 ［教材］ 「汚れつちまつた悲しみに……」 「永訣の朝」 「生命は」 「食事」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴について理解を深めることができる。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 c：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
後期	現代の小説（2） ［教材］ 旅する本	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することができる。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 c：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	近代の小説（2） ［教材］ 「清兵衛と瓢箪」	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート

	近代の小説(3) ［教材］ 「山月記」	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[書]:文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすることができる。 c:文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート
	戦争と文学 ［教材］ 「わたしが一番きれいだったとき」 「死んだ男の残したものは」 「春―イラクの少女シャミラに」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴について理解を深めることができる。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる c:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート レポート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　25　）時間

・読むこと　…　（　80　）時間